

各位

株式会社カナモト
 (9678 東証第1部 札証)
 取締役執行役員経理部長 卯辰 伸人
 <資料に関するお問合せ先>
 社長室 広報担当課長 高山 雄一
 電話:011-209-1631

平成20年10月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

建機レンタルのカナモト（代表取締役社長：金本 寛中 本社：札幌市）は、平成20年8月29日に公表いたしました平成20年10月期（平成19年11月1日～平成20年10月31日）の、連結・個別それぞれの通期業績予想について、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

なお、平成20年10月期連結決算短信は、12月5日金曜日に開示する予定です。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成20年10月期 通期連結業績予想数値の修正（平成19年11月1日～平成20年10月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表値 (A)	71,000	2,800	2,600	1,000	30.45円
今回修正予想 (B)	69,400	2,200	2,000	640	19.49円
増減額 (B-A)	△1,600	△600	△600	△360	△10.96円
増減率 (%)	△2.3%	△21.4%	△23.1%	△36.0%	△36.0%
前期実績(平成19年10月期通期)	68,626	4,236	4,416	3,035	92.40円

2. 個別業績予想数値の修正

平成20年10月期 通期個別業績予想数値の修正（平成19年11月1日～平成20年10月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表値 (A)	61,300	2,800	2,700	650	19.79円
今回修正予想 (B)	60,400	2,400	2,300	180	5.48円
増減額 (B-A)	△900	△400	△400	△470	△14.31円
増減率 (%)	△1.5%	△14.3%	△14.8%	△72.3%	△72.3%
前期実績(平成19年10月期通期)	61,576	4,012	4,372	3,431	104.44円

3. 修正の理由 [平成20年10月期 通期業績]

当社グループの平成20年10月期は、改正建築基準法施行の影響による工事着工遅延や原油・建設資材の高騰などの要因が、ユーザーである建設関連事業者、なかでも公共事業減少で疲弊した地方を地盤とする企業には大きな重石となり、1年を通じて極めて厳しい経営環境となりました。加えて外資投資ファンド、金融機関の投資・融資スタンスの後退は、数多くの中堅デベロッパーの経営に深刻な影響を投げかけました。

これら経営環境の激変は、米国サブプライムローン問題を発端とする世界的規模の金融システム破綻による信用収縮、および円高進行等から、これまで日本経済を回復基調に導いていた自動車や電機などの輸出産業の業績にも大きく影を落とし、日本がこれまで対峙してこなかった諸問題を一気に表面化させる形となりました。

当社グループでは、基本に立ち返り小さな改修工事についても積極的に営業攻勢をかけ、建機レンタル需要が高まる第4四半期に業績改善を目論見ましたが、当初想定以上の金融経済の混乱、それらを起因とする急速な景気後退基調のなか、北海道、東北、南部九州など官需、民需ともに仕事量が絶対的に減少している地域での売上は伸び悩みました。またこれらの地域に展開している連結子会社においても軒並み減収減益の見込みとなりました。この結果、連結売上高は前年同期と比較すると微増となったものの、利益面においては営業利益以下すべて減益となり、修正予想に対しても大きく乖離する見込みとなりました。

また、当期において一部連結子会社にかかわる貸付金及び保証債務に対し、監査法人との協議の結果、一層の保守的見地をもって引当てすることとし、これらを特別損失に計上しました。なお、引当て対象の連結子会社は経営環境の悪化から業績が停滞していますが、いずれも当社グループにおける戦略上の重要な子会社であり引続き支援方針に変更はありません。

4. その他

期末配当につきましては、変更は予定しておりません。

また、この業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等に基づいて予測し作成したものであり、リスクや不確定要素が含まれております。従いまして、実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等、今後様々な要因によって、記載の金額の予想数値と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

以上